



広報

ごじょうめ

昭和61年

8月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 546

夏休み期間のキャンプ場は子供たちの歓声でいっぱい。広場でスイカわり



(広報紙中にある写真を欲しい方に)
おまげします

林業構造改善事業で森山一帯を自然公園にする計画がたてられ、昭和五十一年に森山森林公園が完成しました。その面積は、一二六ヘクタール(約二六町歩)にも及びます。この広大な公園の一角、森山の東側すそ野にキャンプ場があります。四〇アール(約四反歩)の敷地内には、バンガロー十棟、炊事場、トイレなどの設備が整っています。公園入口の管理棟に申し込むと炊事場に備え付けのガスコンロを使用できるほか、ナベやカマなどの炊事器具、テントも借りることが出来ます。キャンプ場で有料なものは、バンガローとテントの使用料、コンロのガス代だけです。キャンプ場を利用する場合は、管理棟に届け出て許可を受けなければなりません。毎年、一千人以上がこのキャンプ場を利用しています。利用のピークは子供たちの夏休み期間で、町外からの利用者も多く、秋田市から毎年訪れる子供会もあります。

森山キャンプ場

町の施設



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430

知事訪問

団体 代表者らと懇談

バイパス設置など要望

佐々木知事は、七月十一日、本町を訪れ、五城目電機株式会社と矢場崎公営住宅を視察した後、午前十時半から役場正庁で町内の関係者たちと懇談しました。懇談会には、町三役をはじめ部室課長、町議会議員、町内各種団体組織の代表者など約八十人が出席しました。



役場正庁で行われた知事との懇談会

あいさつに立った佐々木知事は、最近の県政の主な動きについて報告。県の総合発展計画の前期実施計画を総点検した際、問題になった「県の経済の停滞」と「県人口の減少」について説明しました。また、加賀谷町長は、歓迎のあいさつの中で次のように語りました。「湖東部という地域性、そして上小阿仁、山本郡の

一部を含めた経済圏というものが昔からあり、本町はこの地域の中心としての要件を備えている。そのようなことから県の所管である野鳥の森、保健所、五城目高校などを拡充強化していただくことは、この地域の振興に帰することになる」。

懇談会は、知事自らが進行役を務める形で行われました。町からの県への要望事項として、「下山内地区に国道二八五号線のバイパス設置」が提示されました。また、町議会議員や団体組織の代表者からは、「馬場目川護岸道路の中学校通りまで延長」や「上町通り線の川原町区間の直線化」などが要望としてだされました。

下山内地区の285号線 歩道拡幅ではどうか

知事との懇談会で、町当局からは「下山内地区に国道二八五号線のバイパス設置」が県への要望事項としてだされ、これについて知事が意見を述べました。

猿田建設部長心得……国道二八五号線は、まもなく一次改築が完了すると伺っている。しかし、この路線は日増しに交通量が増加し、車両も大型化している。本町の下山内地区（延長約二七〇〇メートル）は幅員が狭く特に危険である

ので、下山内地区にバイパスを設置していただきたい。佐々木知事……国道二八五号線は重点道路として東北自動車道の開通にあわせて整備を進めてきた。まもなく、改築工事が完了する段階にまで

きており、下山内地区は改築工事が終了した区間となっている。

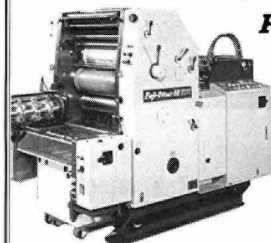
しかし、改築工事当初は規格が悪く、車道の幅員は六メートルあるものの、歩道などは大変粗末である。下山内の区間も昔の規格で改築されているのでいろいろ問題が生じているのは、指摘のとおりである。

問題解消のためには、別のところにバイパスを通す方法と、沿道の皆さんに幅二メートルくらい土地を提供していただいて、現在の歩道を拡幅する方法が考えられる。バイパスの設置は、一日六千台以上の交通量ということになっており、現在の交通量は四千台である。交通量から見ても、もう一度大きく改修することはむずかしい状況である。また、歩道を広げる場合は用地が少なく済むし、工事費も比較的確保しやすいので、歩道拡幅の方法が手をつけやすいと思う。

歩道を改修するということがあれば、今年あたりから作業にとりかかりたいと思っている。バイパスを通すとなると、交通量の算出などが必要であり、もう少し時間がかかる。

バイパスを通すにしろ、歩道を拡幅するにしろ用地が必要であり、バイパス設置を含めて地区の皆さんとよく相談したいので、その際はご協力をお願いする。

おかげさまで最新式オフセット印刷機導入!



Fuji-Offset-58 (四六・四裁型)

最高印刷速度 (枚/時) / 11000枚
最大印刷紙寸法 (mm) / 600×440
給紙方式 / ストリーム・フィーダー

カラー印刷から名刺まで…

湖東印刷所

五城目町古川町 ☎52-2430

どんな風呂釜・ボイラーでも
修理します

お気軽に
お電話下
さい

☎52-9497

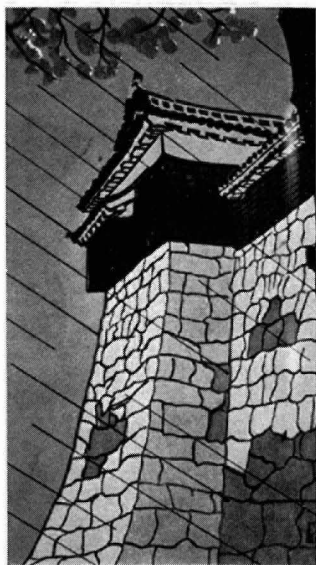


信賴の炎を燃やして…
株式会社 グナワ燃料



庁舎ギャラリーご案内

庁舎玄関ロビーでは、八月一日から大石喜郎先生（富津内小学校・下山内）の版画二十点を展示しています。展示期間は八月いっぱい。次回、猿田和男さんらの川柳に俳画を添えた作品を紹介する予定です。



展示されている版画

大石先生の版画を展示

五城目電機と公営住宅を視察



五城目電機の三浦常務(右)から説明を受ける知事(中央)

知事訪問の7月11日、知事一行は午前9時過ぎに五城目電機株式会社に到着。町長らの出迎えを受けた知事は、さっそく工場内を見て回りました。

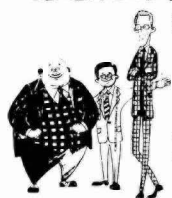
また、矢場崎住宅団地にも足を運ばれ、公営住宅を視察。知事は住宅入居者たちとの記念写真に快く応じていました。

五城目町指定水道工事店
五城目町指定浄化槽施工店
給排水衛生設備工事・電気設備工事
浄化槽設備工事・冷暖房設備工事

富士電設株式会社

本社 52-3539(代)・52-3523
秋田支店 62-2919(代)

あなたの夢を仕立てます



システム
ハッピーオーダー
青広上下 ¥62,000より

より早く より安く よりきれいに
ママ号ドライクリーニング

荒峰洋服店 長町(共栄向い)
☎52-9625

綿の打ち直し は当店へ
ふとんの再製

▶古い布団1枚にボンネル綿を混ぜ1枚を2枚に◀

古い布団1枚から
●サテンアンサンブル…1組…¥16,000～
●ザブトン…10枚…¥13,500～¥30,000
●Wアンサンブル…1組…¥22,000

— お客様の御都合のよい時間にお伺いします —

五城目町 沢田石わたや 沢田石 和子
内川湯ノ又 ☎54-2604

県知事のあいさつから

今年度は、県総合発展計画の後期実施計画と新しい地域計画が同時にスタートした年である。後期実施計画の策定にあたっては、前期実施計画の総点検を行った。

その結果、大きな問題となつたのが、県経済の停滞である。私たちが期待した経済成長率の約六割の伸びしか達成できなかった。

先端技術産業の立地は、昭和六十年において秋田県が全国一であるが、素材型産業の分野がなかなか最近の経済状況に見合った発展をとげられない。このことが県経済全体

の伸びをおさえる結果になっている。

後期実施計画においては、県経済の活性化を図ることを最重要課題としている。

素材型産業については、技術力の向上、体質の改善を図り、経済力を回復させたい。同時に新しい産業を導入して、先端技術産業の分野のウェイトを高めていくことにしている。

もう一つの大きな問題は、人口の減少である。毎年、若人たちが県外に出ていって

前期実施計画を総点検

経済活性化を最重点に

育を受けた人たちの職場が、秋田にないことが問題である。こうした点で、若い人たちの職場を広げることさらに力を入れていきたい。

全国的な傾向であるが、秋田県は出生率が特に低い。健康

いるが、昭和五十五年、六十一年の国勢調査によると、この流出する人口はほとんど変わっていない。ところが、大学に進学するために県外に出ていった若い人が、秋田にもどってこない。東京などで大学教

全な地域社会を維持していくためには、出生率については県民にもう少し考えていただくかねばと思う。

後期実施計画は、県経済成長の目標を国の成長率四・〇%を上回る四・五%を確保したいということである。このためには、行政として経済発展の基礎づくりにさらに力を注いでいくが、県民の方々もそれぞれの分野で、それぞれの立場でがんばっていただきたい。

経済上、多くの問題をかかえていることを、私たちは十分認識している。農業面では、米価の問題も大変きびしくなるといふ気がするし、木材産業も外材の輸入価格の値下がり、貿易摩擦による関税引き下げなどきびしい現状である。これに伴って林業も非常に苦しい状況にある。

しかし、こうした苦しい時期にふんばらないと、秋田の木材は、全国の産地間競争に勝てないものになってしまう心配がある。秋田杉の名声を将来ともに維持するために、努力されることを期待している。



新谷新会長

会長に新谷氏を選任

理事の定数を17人に

町内会長会

五城目町町内会長会（石川誠一郎会長）の定例総会が、七月十六日、役場正庁で町内会長六十人が出席して開かれました。来賓として、町三役をはじめ町議会議長、教育長、部長が出席しました。

最後に役員の改選が行われ、勇退を表明した石川誠一郎会長の後任として、新谷秋蔵氏が選出されました。新役員の公名前は次のとおりです。（敬称略・順不同）

- ▽会長 新谷秋蔵（米沢町）
- ▽副会長 石井道也（寺庭）
- ▽理事 小玉兼太郎（中高崎）
荒川善一郎（田町）
小浜寅雄（今町）
石井清（昭辰町）
- ▽監事 鳥井市朗（上樋口上）
小野正一郎（浦横町）
加藤千雄（新町）
伊藤二郎（下山内）
金子松之助（館町）
- ▽会計 伊藤幸雄（町村）
石川誠一郎（杉沢）
伊藤礼三（八田）
小玉徳太郎（北々口）
安田鶴治（黒土）
工藤兼一（浅見内）
木村信一（大川）
菊地一郎（西野）

総会では、昭和六十年度事業報告と決算、昭和六十一年度事業計画と予算案が承認されたほか、会則の一部が改正されました。改正の内容は、理事の定数を十五人から十七人に増し、各地区から選出される理事の数の均衡を図ったもので、五城目地区と馬川地区選出の理事が、それぞれ一人増えました。

また、久保町内会長を六年間務め、このほど退任された一関昌美さんに、石川会長から表彰状と記念品が贈られました。

佐竹氏 古里で講演

朝市・五城目城訪れる

俳優の佐竹明夫氏が、七月十七日、朝市や五城目城に足を運ばれた後、役場正庁で講演を行いました。会場には、町内の皆さんなど約二百五十人が詰めかけ、佐竹氏の人気のほどがうかがえました。

佐竹氏は、大川出身のドイツ文学者・木村謹治博士の甥にあたります。佐竹氏の母親と木村博士は兄妹の関係にある

時、今回の来町は、古里で伯父・木村博士の遺業をしのびたいという氏の希望もあって実現しました。

講演のテーマは、「すばらしきかな・わがふるさと」。佐竹氏は、子供のころ学校の休みを利用して、たびたび母親の生家である大川の木村喜之さん宅を訪れています。講演の内容は、大川村で過ごした当

時の思い出が中心となっていました。

「大川での生活は、楽しい思い出ばかりです」と当時を回想する佐竹氏は、キラキラと光る八郎潟、田んぼの中を走る汽車、帰省でにぎやかな木村家、おいしいご飯と祖母が仕立てた浴衣など、一つひとつ思い出すように語っていました。

十六日の夕方、本町に着いた佐竹氏は赤倉山荘に一泊。翌日、講演前の時間を利用して、木村博士の特別展が開かれている五城目城を訪れました。



木村喜之氏（左）の案内で朝市を楽しむ佐竹氏（中央）

おいしさにまごころこめた

お菓子の老舗

松月堂

五城目町川原町

TEL52-2439



県政 重点施策として

若年者の地元定住を

県では、今年度の県政重点施策の一つに「若年者ふるさと定住総合雇用対策事業」をあげ、高校生などの若年者の県内就職を高める対策を積極的に展開することとしています。

秋田県の人口は、昭和五十六年十二月以来、年々減少し続けており、これは高校卒業生などの県外就職が大きな原因とされています。そのため、若年者の地元定住を促進することが必要不可欠で、県では四月から若年者の地元雇用対策に取り組んでいます。

また、県では昨年の八月に、県内の高校三年生約一万五千八百人を対象に、進路選択についてアンケート調査を行いました。それによると、県外就職を希望する三千九百二人のうち「求人条件がよい」などの「会社重視型」が四一・六％とトップでした。しかし、「都会へのあこがれ」などとなく県外で生活してみたいといった都会志向が動機の「なんとなく型」が三五・七％もあり、「通勤圏域に適当な職場がない」とした「やむを得ず型」が一四・〇％となっていました。

若年者の地元雇用対策は、県外就職を希望する者のうち約半数を占める「なんとなく型」

型」「やむを得ず型」の層に對して、県内就職を働きかけ、県内へ定着させることをねらいとしています。

県内企業の求人充足率は、従業員数三百人以上の企業でも、全国平均に比べて一〇％以上も低く、新規高校卒業者を対象とした求人倍率（求職者数に対する求人数の割合）は、一・六倍と量的には対処できる状況にあります。県内就職が伸び悩んでいる理由の一つに、県内企業に対する理解と認識の不足が考えられることから、県では、生徒などに県内企業の視察を通して、その実態を理解していただくことにしています。

昨年の県内企業からの求人は、七月末で四〇・七％、十月末でようやく八五・七％という状況でした。これに対して県外企業からの求人は、七月末で七五・八％、十月末では九八・五％に達しています。このため、県内への就職を希望していた者でも、早めに求人活動に入った県外企業に変更しなければならぬ場合もあるとされています。県ではこの対策として、県内企業に對して、求人申し込みを早目に行うように働きかけたいとしています。

建築物防災週間 特殊建築物を点検

また、県外の大学に進学した者のうち、三人に二人は県内への就職を希望しているといわれています。これらの大学生の県内就職志向と県内企業の求人状況に的確に對処するため、県内外の大学に求人情報を提供し、県内就職の促進を図ることにしています。

八月三十日から九月五日までは、建築物防災週間です。この週間は、建築物の防災対策を推し進めるため、一般の皆さんに建築物の防災知識、防災関係法令や助成制度を知っていただくというものです。

期間中、県では、今年発生した静岡県の熱川温泉や峰温泉のホテル火災などを教訓にして、特にたくさんの人たちに利用される特殊建築物を重点的に防災点検を行います。

また、現在、建築物の窓ガラスなどの落下による災害を防止するため、建築物の調査を行い、危険な建築物の所有者や管理者に對して改修などの指導を行っています。

毎年、火災、地震、がけ崩れなどで、建築物の被害だけでなく、多くの生命も失われています。建築物を安全なものにするには、建築物の所有者や管理者はもちろんのこと、それを利用する一般の皆さんの理解が必要です。



町には、役場庁舎をはじめ温水プール、広域体育館、公営住宅などを視察するため、町外からたくさんの方が訪れています。四月から六月までの間に視察に訪れた皆さんは次のとおりです（敬称略）

- ・ 4月4日 渡辺文夫東大教授外一名 (2人)
- ・ 4月24日 山本土木事務所建築課 (2人)
- ・ 4月25日 秋田県林務部林政課 (6人)
- ・ 5月8日 八森町創作木工芸「木肌のぬくもり」社 (8人)
- ・ 5月12日 秋田市中心公民館婦人学級 (15人)
- ・ 5月23日 秋田市広面関係者 (9人)
- ・ 5月25日 秋田市新城中野町内会 (30人)
- ・ 5月26日 琴丘町社会福祉協議会 (38人)
- ・ 5月28日 横手市役所職員 (10人)
- ・ 5月29日 寒河江市海外移住家族会 (3人)
- ・ 5月29日 岩手県雫石町教育委員会 (6人)
- ・ 5月29日 秋田県土木部建築住宅課 (2人)
- ・ 6月3日 二ツ井町役場職員 (20人)
- ・ 6月8日 角館町関係者 (20人)
- ・ 6月9日 埼玉県飯能市大河原木材株式会社 (10人)
- ・ 6月10日 秋田市広面商工信用組合 (50人)
- ・ 6月11日 秋田市牛島婦人会 (19人)
- ・ 6月15日 秋田市中城東中学校PTA (30人)
- ・ 6月19日 比内町議会議員 (10人)
- ・ 6月19日 建設省住宅局住宅建設課 (5人)
- ・ 6月20日 公営住宅建設事業担当者研修会 (182人)
- ・ 6月20日 大潟村婦人会 (10人)
- ・ 6月21日 大内町加賀沢町内会 (33人)
- ・ 6月22日 秋田市上新城関係者 (9人)
- ・ 6月24日 秋田市大町関係者 (8人)
- ・ 6月25日 秋田市城東中学校PTA (30人)
- ・ 6月30日 県林業後継者会議 (30人)

歯みがきで みんな白い歯 あいさつ元気

寺庭 石井 亥治

夏のごあいさつに涼しさを添えて……。

つめたく冷やした「水ようかん」「リキュールゼリー」そのみずみずしい舌ざわりになぜかなつかしい思い出がよみがえります。

新発売
梅ゼリー、ワインゼリー、栗かの子
(自家製シールカップ入)
涼味の詰め合せ……1,000円より

お菓子のしばた
五城目町古川町 電話52-3238

大川の歴史を揭示

農村環境改善センター

大川の農村環境改善センターでは、大川地区の歴史を多くの人たちに紹介するため、1階研修室に大川地区の歴史年表を掲示しました。

この年表は縦90センチ、横4.3メートルほどのベニヤ板製。西暦658年の阿部比羅夫にエミシの族長が服属したときから、昨年の町村合併30周年記念式典まで、白地に墨の文字で記されています。年表の編集は、町史などをもとに地域の人たちの意見を聞きながら、馬場目小学校の小野一二先生の助言を得て行われました。また、年表の文字は、菊地亮二さん（東磯ノ目町）の筆によるものです。



1階研修室に掲げられている歴史年表

カメラレポート



戸村堰の用水を利用して試験放水

新しい小型ポンプ配備

7分団の恋地地区に

新しい小型動力ポンプ1基が、7月25日、消防団第7分団の恋地地区に配備されました。

ポンプの引き渡し式は、同日、役場庁舎前で行われました。その後、団員たちは町長の立ち会いのもとで、庁舎向いの戸村堰の用水を利用して試験放水し、性能を確かめました。

この動力ポンプは、町が国の補助を得て購入したもので、水冷2サイクルエンジンを2基備え34馬力。規格放水量毎分1.12立方メートル以上。

お知らせ

職業訓練指導員試験

受験の申請受け付け

県では、昭和六十一年度職業訓練指導員試験の受験申請を受け付けています。

▽申請書類の提出期間
八月十一日～二十三日

▽試験期日
九月二十五日(木)

▽試験場所
県総合職業訓練センター

▽申請書類の提出・請求先
〒010

秋田市山王四丁目1-1
県商工労働部職業訓練課
☎60-1733

消防設備士試験の講習会を開催

消防法に基づく昭和六十一年度の消防設備士試験は、十月二十四日(金)に予定されており、これに伴う講習会が開かれます。

▽講習日・講習の種類
九月二十四日(水)

甲・乙種一類
九月二十五日(木)

甲・乙種四類
九月二十六日(金) 乙種六類

▽講習の場所・時間
場所 秋田市山王四丁目2
12みずほ苑(三階)



防災週間
(8月30日～9月5日)

防火管理者の講習会

申し込みは25日までに

防火管理者に必要な知識と技術を学ぶための講習会が開かれます。

講習会の主な内容は次のとおりです。

▽場所 秋田市山王四丁目1-1 秋田県正庁
▽日時 九月十七日(水)と十八日(木)の二日間
午前八時半～午後四時半

▽受講料 テキスト代三千元
▽受講対象者 事業所における管理者、監督的地位にある者で、防火管理者の資格を取得し、防火管理の業務を行おうとする者。

▽申し込み方法 消防署に用意してある受講申し込み用紙に必要事項を記入して申し込む。

▽申し込み締め切り 八月二十五日(月)まで

▽申し込み先・問い合わせ先 消防署(☎52-2028)

時間 午前九時～午後四時半
▽受講料 四千五百円
▽申し込み期間 八月二十六日(火)～九月四日(木)

▽申し込み先 秋田県生活環境部消防防災課内秋田県消防設備保守協会(申し込み申請書は消防署にあります)

※詳しいことは消防署(☎52-2028)にお問い合わせください。

町内の話題

“だより”に 古里日付印

内川郵便局で押印

内川郵便局では、八月二十日から郷土紹介の風景入通信日付印（スタンプ）を、希望者の申し出に応じて郵便物に押すことになりました。

この日付印には、町のシンボル五城目城と、山内地区に四百年前から受け継がれている番楽の面、そして町の花である山ゆりが描かれています。町を象徴的にデザインしてありますので、古里の紹介として、また古里からのたよりの目印として、遠く離れた友人や親せきへの郵便物には最適です。

この日付印を希望する方は、内川郵便局の窓口に出していただきます。ハガキや封筒のほか小包などにも押してもらえますが、ポストに投かんした場合は、普通の日付印が押されます。



風景入通信日付印（実物大）

また、記念に押してもらいたい方は、ハガキが四十円以上の切手をはったものを同郵便局の窓口で差し出してください。

全県制覇の 中 女子剣士

全県中学校総体

第三十五回全県中学校総合体育大会は、七月十九日から三日間、秋田市を会場に行われ、五城目第一中学校女子剣道部が七年ぶり二度目の優勝を果たしました。また、個人戦では、湊コウ子さんが三位に入賞しました。

全県大会の主な結果は次のとおりです。（町内関係分）東北大会出場選手）

【剣道女子個人】

▽予選リーグ
五一中 3-2 出羽中
五一中 5-0 増田中

▽決勝トーナメント準々決勝
五一中 5-0 天王中

▽同準決勝

五一中 3-1 鷹ノ巣中

▽同決勝

五一中 3-2 角館中
石井真 メー 荒川
石井久 ドコ 菅原
伊藤 ドメー 小川
青山 メー 経徳
湊 メー 鈴木

【剣道女子個人】
▽一回戦
湊 メー 鈴木

二回目の全県制覇を成し遂げた五一中女子剣道チーム



湊 メー 高橋（稲川）
二回戦
湊 コー 秋元（鷹巣）

▽準々決勝
湊 メー 鈴木（角館）

▽同準決勝
木村（土崎）ドドメ湊

【陸上】
三年男子一〇〇M二位（11秒8） 八柳善春（五一中）
二年女子一〇〇M五位（13秒4） 佐々木裕美子（五一中）
低学年四〇〇Mリレー四位（54秒7） 石井恵、鈴木史子、小林聡子、佐々木裕美子（五一中）

【水泳】
女子一〇〇M背泳五位（1分20秒58）内藤節子（五一中）

松丘保養園を慰問して ①

結核予防婦人会会長 伊藤花美（脇村）

松丘保養園は八甲田山のふもとに在り、広い敷地の中にはたくさんの建物が立ち並び、昨年十月現在で二百三十九名の職員と四百四十三名の入園者がありました。秋田県の方は男七十名、女六十六名、合計百三十八名でした。

病院の院長からハンセン病を正しく理解するためのお話を一時間くらい聞き、スライドも見せていただき医学の進歩とそこに勤めておられる先生方の努力に頭の下がる思いがいたしました。

保養園内にある公民館で秋田の方々とお話を致しました。私達は自己紹介をして、それぞれの村や町の近況をお話したところ、県人会の会長さんは秋田のことは私達よりも良く知っており、一日おくれの秋田の新聞を毎日読んでいるとのことでした。一時間くらい

文芸、スポーツとさかんで、昨年はゲートボール青森県大会で優勝したと喜んでおりました。

明治以来ハンセン病の近代的な療養所が設立されてから百年余りになるそうですが、松丘の保養園をかこむ木々も歴史をささみ古木になっております。全盲になった方々のために散策路の角々に鳴っている鐘の音をきき、はるかかなたに建っている納骨堂を見た時は訪れる家族もほとんどいままに死をむかえた方々を思い、胸にせまるものがありました。

患者さん達とお別れするとき、県人会の会長さんから結核予防婦人会のおかげでライ病に対する認識が深められ、毎年こうした慰問を受けられることを患者一同心から感謝していると結ばれた言葉に、私達の活動も無駄ではなかったと感慨を新たにしました。この方達に温い手をさしのべるのは健康に恵まれた者の務めではないでしょうか。（完）

みんなの広場

研修会を開催して

増改築相談員を養成

秋田県職業能力開発協会では、増改築相談員を養成するための研修会を開催します。

研修会では、住宅の構造、工法、設備、内外装のほか、住宅建設に関する融資制度、

法令なども学習します。

▽場所 秋田県総合職業訓練センター

▽日時 九月九日・十日午前

九時～午後五時

▽費用 受講料一万円

▽申し込み締め切り

九月二日（火）

▽受講対象者

・大工・工務店等、住宅建設業に従事しており、実務経験十年以上の者。一

または講習実施者かそれと同等以上の能力を有すると認められる者。

▽申し込み・問い合わせ先 秋田県職業能力開発協会

☎ 62-3510

大河兼任のなぞ

⑩



五城目馬市せり場風景（大正末・高性寺境内）

馬場目の牧

小野 一二

大河柵（石崎遺跡）にて新方を称した大河氏が、潟と海側の交通路をおさへ、さらに男鹿島との連絡を確保するために、水軍として勢力を形づくっていたことは前回にのべた。

ところ、清原軍の陸奥遠征軍の陣立てにみるように、橘氏一門は強力な陸上の戦力となっている。特に七陣まであるうちの中核の四陣に配置されてい

るのは、新方を称する橘頼貞、大河氏である。秋田郡の湖東平野をおさえ、さらに阿仁方面、松山方面に勢力圏をひろげ、比内地方をうかがう勢いを大河氏はもっていたから、当然陸上軍として精強なものだったと思われる。つい最近まで馬場目地域は、県内有数の馬産地だった。毎年のように馬市が開かれる五城目では、盆と正

月とお祭が一度にきたようになにがわいが数日つづいたものである。この馬産地としての歴史は古代にさかのぼる。大宝令「厩牧令」に秋田二十七牧がみえ、古今集には「みちのくの秋田の山は秋霧の立野の駒も近づきぬらし」という牧の風物をよんだ和歌がある。秋田は秋田郡のことであり、二十七牧中にみえる沢内は馬場目の古名と考えられている。また岩野山古墳群からは、轡が出土しているが、ここに埋葬された在地豪族の乗馬は、馬場目の牧で生産されたものであろう。秋田大学新野直吉教授は、秋田の馬を「南の方からではなく北の方からのルートでやってきた」とし、沿海州方面からの北方系の海馬を考へておられるが、馬場目の馬はまさしく北方系の種であった。馬は出羽国の最高の貢納物であったが、在地豪族の戦力を形づくる兵器でもあった。清原軍の中核部隊新方大河氏の軍勢は、馬場目の牧の優秀な馬にまたがって戦ったと思われる。馬場目の吉弥侯部氏は、大河氏の族長の一人として、牧長をつとめていたかも知れない。

9月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原樋口、岩城町	1日・4日・8日・11日・18日・22日・25日・29日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	2日・5日・9日・12日・16日・19日・26日・30日 火・金
大川(1区～4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	3日・6日・10日・13日・17日・20日・24日・27日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町	13日・第2土	27日・第4土
新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	12日・第2金	26日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	11日・第2木	25日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	10日・第2水	24日・第4水
大川(1区～4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	9日・第2火	一・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	8日・第2月	22日・第4月

注 意 ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904



善 意 銀 行
預 託 者



森 山 荘 に
寄 せ ら れ た 善 意



善 意
(敬称略)

- ・七月五日 新畑町 田中政二 (亡父清一様の香典返しとして)
- ・七月十四日 富田 伊藤正美 (亡祖母イシ様の香典返しとして)
- ・七月十七日 佐竹明夫 (サイン会の全額を寄付したもの)
- ・五月十二日・六月十六日 理容奉仕 今町 小杉田啓一
- ・六月八日 歌、紙しばい、花 日本キリスト教団八郎潟 芦名先生外二十名
- ・六月十日 赤飯十四キログラム(ホーノキの葉に包んで)、歌踊 町村農協婦人部 伊藤ヤエ外十三名
- ▽大川保育園へ寄贈 七月十五日 ぞうきん三十枚、タオル五枚、バスタオル五枚 大川若妻会 (代表 佐藤レイ)
- ▽農村環境改善センターへ図書を寄贈 八冊 曙町 畑沢敬子 十八冊 石崎 加藤士郎 六十八冊 下樋口 工藤 偉